

新たな街並みを形成するとともに、既存施設の建替えを見越した配置計画



鳥瞰イメージ



図書館イメージ



町民ラウンジイメージ

概算事業費（億円）

工事費	複合施設棟	20.9
	既存建物解体	1.9
	エネルギー棟	1.6
	外構工事	3.7
設計業務その他	測量調査、設計等	1.8
	用地補償費	0.7
	備品費等	1.0
合計		31.6

■複合施設の設計コンセプト
まちづくり複合施設は、地域社会の核となる図書館、庁舎を含む複合施設として、町民や町外の人々等、多くの人が日常的に訪れ、多くの知恵が集結する明るいまちづくりの拠点とし、白鷹町を愛し、一体感を作り上げる拠点空間として本施設を位置づけます。

■施設計画の概要
・明るいまちづくり拠点施設・一体感を醸成する複合施設
・白鷹町の人・地域から生み出される交流拠点の施設
・白鷹町の木材を積極的に利用できる計画

■新施設整備の概要
【建設地】白鷹町大字荒砥甲833（現在地）
【延床面積】4716㎡（内訳―図書館、町民ラウンジ等 2819㎡、役場庁舎 1797㎡、バイオマス施設 100㎡）
【構造】木造2階建て

今後のスケジュール

平成 28 年
まちづくり複合施設
実施設計

平成 29 年～ 30 年
まちづくり複合施設
整備工事

平成 31 年
・新施設への移転
・外構工事